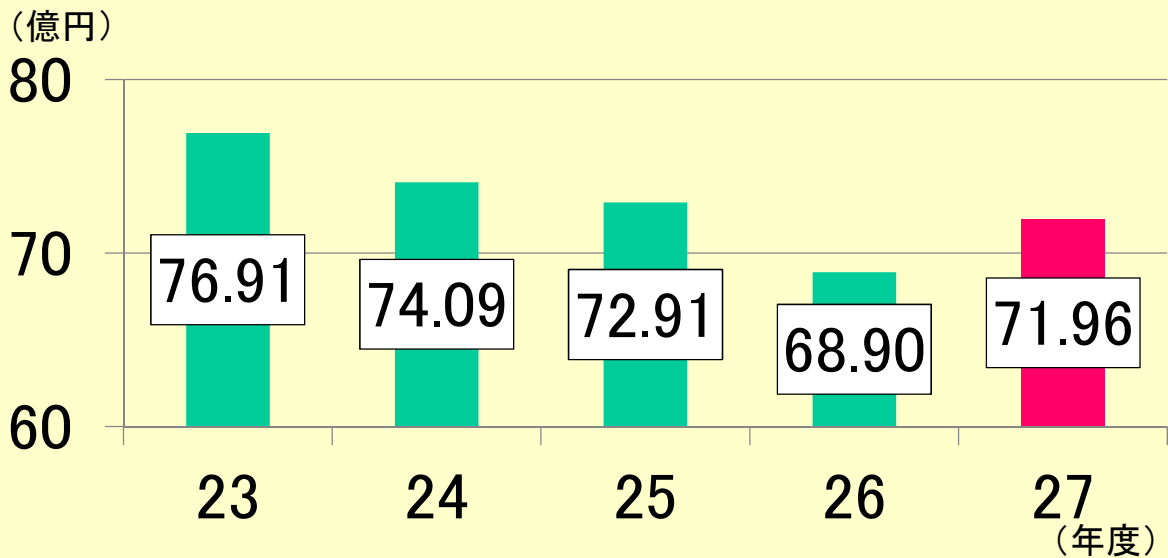
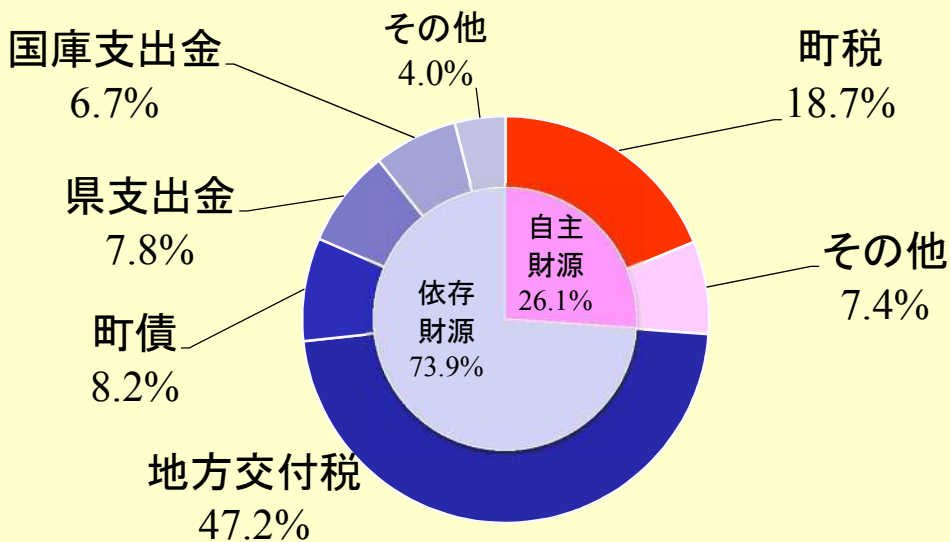


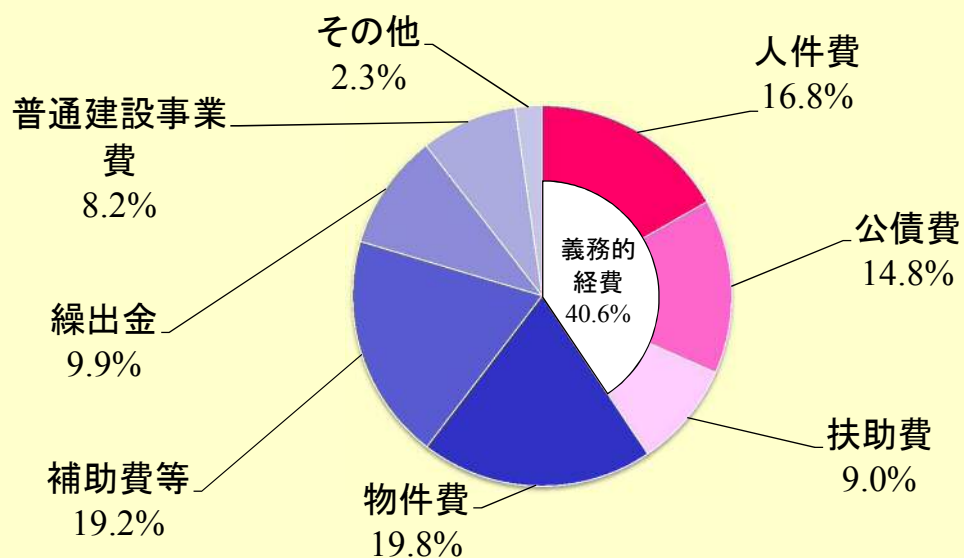
一般会計当初予算額の推移



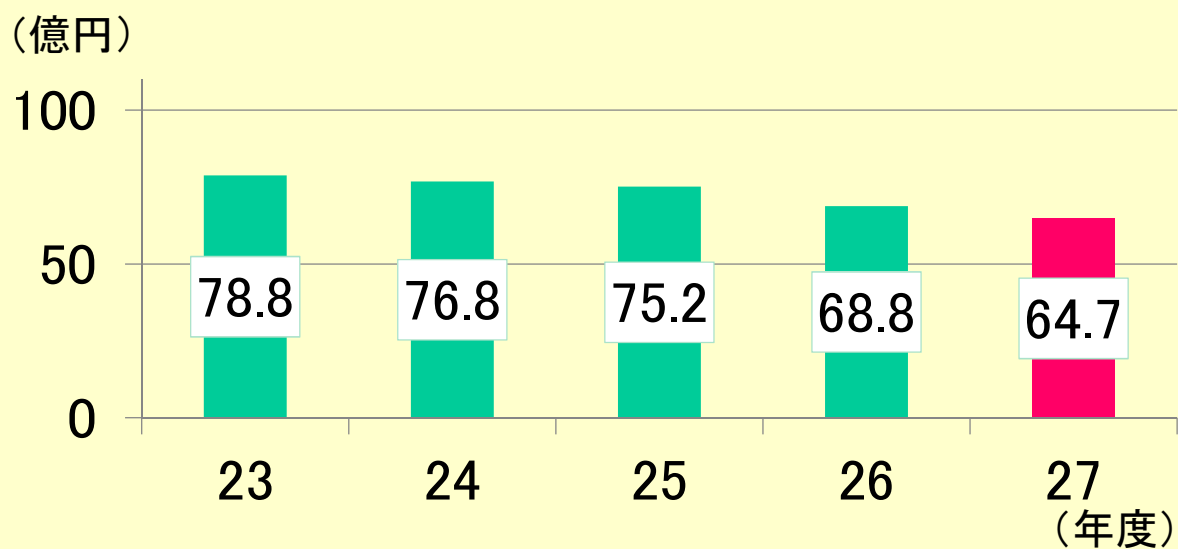
歳入 72億円



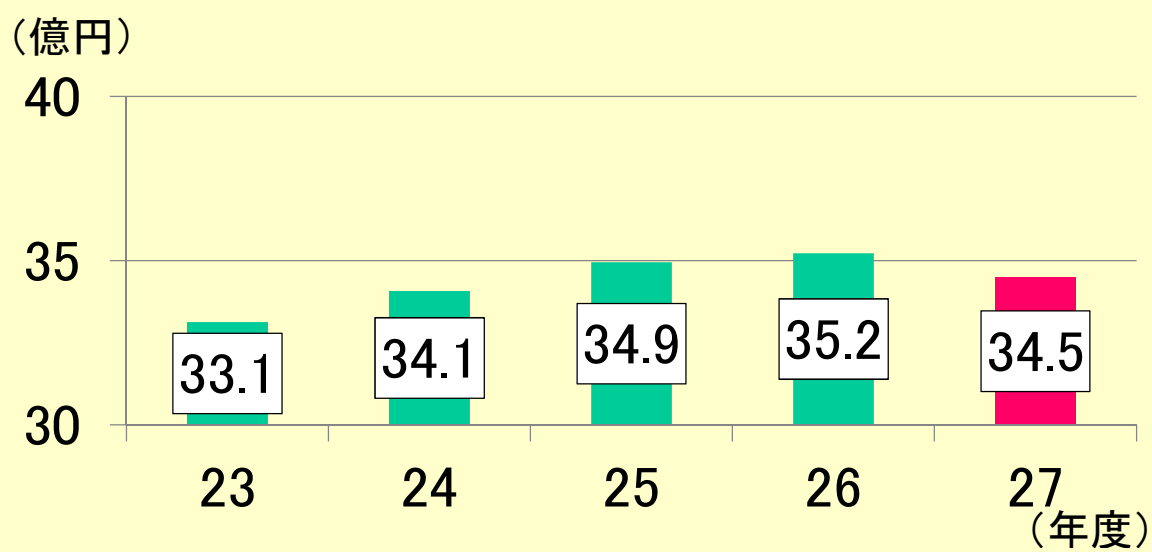
歳出（性質別）



地方債(借入金)残高の推移



基金(貯金)残高の推移



平成27年度一般会計予算

経営企画室

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

提出課 企画課
(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	総合計画作成事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
177	642				642

(事業内容の説明)

- 総合計画後期計画(H23～27年度)について、取組状況調査を行う。
- 次期総合計画(H28～37)について基本構想・基本計画を策定する。
 - ・住民アンケート実施 対象人数:1,500人
 - ・庁内ワーキング会議実施
 - ・パブリックコメント募集
 - ・町民意見、知識を集める座談会開催
 - ・総合計画審議会開催

【予算の状況】 (単位:千円)

科目等	内 容	金 額	備 考
報酬	総合計画審議会委員報酬	213	年4回
旅費	普通旅費	5	
需用費	消耗品費	41	アンケート用紙、発返送用封筒
需用費	印刷製本費	140	アンケート印刷製本1,500部
委託料	作成委託料	243	アンケート結果入力・集計・データ作成
	合 計	642	

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 10. 地方バス路線運行維持対策費

(単位:千円)

事業名	地方バス路線維持対策事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
115,451	117,672	9			117,663

(事業内容の説明)

- 安全・安心な生活を実現するために、広域バス路線の維持を行う。
住民生活に必要な広域バス路線を維持するため、日ノ丸自動車(株)への補助等を行う。
 - ・日交バス水浜線回し場借上料 (遠藤地内 115㎡) 15千円
 - ・日ノ丸自動車(株)への事業運営補助金

根雨線(米子駅～永江団地～JA溝口)
根雨線(米子駅～溝口～日野病院)
岩屋谷線(米子駅～岩屋谷)

} 町内を通過する広域路線バス3路線について、赤字部分に対し、町内を走る割合分に応じて補助金を支払う。

補助金見込額

①路線維持費(嵩上げ分)補助金	3,757千円
②運行費(路線維持費補てん分)補助金	7,151千円
③広域バス路線維持費補助金	31千円
計	10,939千円

- 安全・安心な生活を実現するため、町営バス事業を実施する。
住民生活や住民活動に必要な「スクールバス」「デマンドバス」「外出支援サービス」「研修バス」を運行するために、地域交通特別会計への繰り出しを行う。

事業費分(一般管理・車両運行・配車センター)	92,371千円
人件費分	14,275千円
公債費分(過疎債借入利子分)	72千円
計	106,718千円

(事業費内訳) (単位:千円)

科目等	内 容	金 額	備 考
使用料及び賃借料	土地借上料	15	バス回し場借上料(遠藤地内)
負担金補助及び交付金	地方バス路線運行維持対策費補助金	10,939	国庫補助・県補助路線維持補助
地域交通特別会計繰出金	地域交通特別会計繰出金	106,718	
	合 計	117,672	

平成27年度一般会計予算

経営企画室

提出課 企画課

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)11.交通安全対策費

(単位:千円)

事業名	交通安全対策事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,074	2,148			300	1,848

(事業内容の説明)

○安全・安心な生活を実現するために、交通安全運動を推進する。
 住民や各種団体に対し、交通安全運動への参加を呼びかけ、意識の向上と啓発を行う。
 全国交通安全運動への協力・参加呼びかけ（春・秋）
 交通安全県民運動への協力・参加呼びかけ（夏・年末）
 江府町との合同啓発活動実施（年4回）
 地域住民と指導員による啓発立ち番（毎月1日・15日）

} のべ参加予定人数
約4,000人

交通安全の啓発活動を行っている住民団体へ助成を行い、住民活動の推進をはかることで意識の向上と啓発を行う。

また、下記協議会の事務局として、交通安全に対する住民活動を推進する。

伯耆町交通安全推進協議会（構成員 31団体・オブザーバー 25名）

伯耆町交通安全指導員協議会

伯耆町交通安全保護者の会連絡協議会（各小中学校及び保育所 12団体）

○広域交通安全啓発団体に協力し、交通安全に対する啓発活動を推進する。

負担金（日野川地区交通安全協会：伯耆・江府・日野・日南）

負担金（鳥取県高速道路交通安全協議会）

○交通災害共済への加入促進により、交通事故被害者の被害軽減をはかる。

交通災害共済への加入を促進するため、加入者一人あたり200円分を各集落へ交付する。

○運転免許証を自主返納された方へ町デマンドバス回数券支給

回数券3冊(11枚つづり(100円券):3,000円分)

対象者:満70歳以上で免許証を自主返納された方、障がいのため免許証を自主返納された方

○伯耆町交通安全大会実施

交通事故防止の意識高揚、飲酒運転撲滅、チャイルドシート着用の推進を図る。

参加人数:交通安全関係者及び町民約100名

内容:街頭啓発行進、交通安全のアトラクション等

(事業費内訳)

(単位:千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	交通安全指導員報酬	828	41,400円×20名
旅費	普通旅費	4	交通安全対策各種会議参加旅費
	費用弁償	20	交通安全警察犬補助員報酬10,000円×2名
需用費	消耗品費	254	運動用啓発物資・注意喚起看板・のぼり旗
	光熱水費	17	回転灯電気代(4箇所:上細見、須村、吉定、殿河内)
	施設修繕料	19	回転灯修繕費(4箇所:上細見、須村、吉定、殿河内)
役務費	通信運搬費	30	運転免許証自主返納者支援(デマンドバス回数券支給)
負担金補助及び交付金	各種団体交付金	265	交通安全保護者会ほか
	交通災害共済加入交付金	500	交通災害共済加入交付金(@200円×2,500人)
	各種団体負担金	211	日野川地区安全協会ほか
合計		2,148	

<歳入について>

※交通災害共済の手数料収入あり（全労災：加入口数 × 100円）

3,000口 × 100円 = 300,000円

平成27年度 地域交通特別会計予算

経営企画室

(款)1. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)1. 一般管理費
 提出課 企画課
 (単位:千円)

事業名	車両運行事業				
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
95,375	98,435	8,515		89,920	

(事業内容の説明)

住民生活や住民活動に必要な地域密着型バス事業について、需要に合わせた4種類の運行事業を行う。

○スクールバス運行事業

小中学生の安心安全な通学のため、スクールバスを運行する。

- ・運行台数：登校12台・下校9台
- ・利用予定人数：延べ約12万人（運行日数：約260日／年）
- ・一般住民の利用も可能

スクールバス運行事業費 54,832 千円

○デマンドバス運行事業

小中学生以外の交通弱者のため、一部予約型のデマンドバスを運行する。

- ・運行台数：3台
- ・利用予定人数：延べ約30,000人（運行日数：約360日／年）
- ・70歳以上の住民は、料金が半額。（200円 ⇒ 100円）

デマンドバス運行事業費 36,801 千円

○外出支援サービス運行事業

路線バス・スクールバス・デマンドバス等の公共交通機関の利用が困難で、且つ介護保険事業の適用にならない交通弱者に対する支援として「外出支援サービス」を実施する。

- ・運行台数：3台
- ・利用予定人数：延べ約1,700人
- ・運行日数：約250日／年
- ・利用対象：要介護2以上・身障3級以上
- ・家から病院、病院から家へのドアtoドアの輸送サービス。（週1回まで）

外出支援サービス運行事業費 6,802 千円

○研修バス運行事業

住民活動の推進のために、スクールバスの空き時間を活用して「研修バス」を運行する。

- ・利用対象：各単位老人クラブ・ボランティア団体 等

研修バス運行事業費 スクールバス経費に含む

合 計 98,435 千円

【伯耆町型バス事業執行体制】

- ・企画課経営企画室（68-4212）：事業の企画、予算編成・決算、対外的な会議・折衝等
- ・分庁総合窓口課（62-0711）：車両運行及び維持管理、予算執行、予約管理等
- ※デマンドバス配車センター併設（0120-62-0734）

平成26年度一般会計補正予算(第7号) <繰越事業>

町づくり推進室

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

提出課：企画課
(目) 7. 企画費

(単位：千円)

事業名		婚活イベント事業補助			
前回までの 予算額	補正額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	500	500			0
(事業内容の説明) 中山間地域では、少子高齢化が進行し、農林業の後継者はもちろんのこと、今後地域を支える者すら減少をしている状況にある。そこで、未婚男女の出会いの場を提供し、少子化の対策を進める。					
(積算根拠) 婚活イベント補助金 500,000円 ※補助金交付予定団体 民間の婚活イベントを開催する団体					

(単位：千円)

事業名		日光地区買物支援サービス事業			
前回までの 予算額	補正額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	2,706	2,416			290
(事業内容の説明) 日光地区には、3年前に個人商店が高齢のため廃業され、小売店等が全て無くなった。一部の集落には、移動販売車が巡回をしているが、全てをカバーするに至っていない。急速に高齢化が進行する中、買い物困難者対策を進める必要がある。 本年度整備をした、日光交流センターの一部を利用して、ミニコンビニと商品の配送を行う。併せて、日光交流センターを日光地区の交流拠点としての利用促進を目指す。					
(積算根拠) 日光地区買物支援サービス事業補助金 2,706,000円 ○補助金内訳 人件費 536,000円 消耗品費 250,000円 光熱水費 450,000円 設備工事費 378,000円 備品購入費 1,000,000円 事務費等 92,000円 ※補助金交付予定団体 日光地区協議会					

平成27年度一般会計予算

町づくり推進室

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位:千円)

事業名		区長協議会			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,054	14,101			6,153	7,948
(事業内容の説明)					
伯耆町内における自治会(集落)の相互の連携と親睦を図るとともに、その共通の問題の解決に向けた協議を行い、住民自治意識の高揚と地域社会福祉の向上に資することを目的に伯耆町区長協議会を運営し、自治会活動を支援する。					
①地域自治活動交付金(世帯数は平成26年度実績数)		13,174千円			
集落の自治活動を活性化するため、各集落に交付金を交付するもの。 1世帯当たりの交付単価4,000円(平成26年度から) $4,000円 \times 3,293.5世帯 = 13,174,000円$					
②区長協議会定例会出席報償費(4月・12月・1月に開催予定)		648千円			
$2,400円 \times 90人 \times 3回 = 648,000円$					
③区長協議会交付金		270千円			
区長協議会の各種事業(環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修など)の事業費として区長協議会に交付するもの。					
④区長協議会先進地視察研修随同行の普通旅費		9千円			
$(2,200円 \times 4人分)$					
		合計(①~④)		14,101千円	
(財源内訳)					
・地域振興基金利子		6,153千円			
・一般財源		7,948千円			
		合計		14,101千円	

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位:千円)

事業名		有線放送施設維持事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,085	1,231				1,231
(事業内容の説明)					
集落有線放送施設の修繕費用を補助し、地域活動の向上発展を図る。					
●使用料及び賃借料(共架料、土地使用料)		687千円			
●負担金補助及び交付金		544千円			
・風水害等で被災した施設の復旧補助(80%) ・集落有線が共架してある電柱の支障移転に伴う移設費補助(45%) ・有線放送器の機能増強に伴う補助(45%)【新規】					
(財源内訳) 全額一般財源					

平成27年度 公共施設整備補助事業(申請状況)

町づくり推進室

事業名	集落名	事業内容	申請額	補助率	補助予定額	
集落公民館等の整備 拡充事業	福永	公民館の増改築 和室、倉庫、外 壁、内壁など改 修	3,032,651円	45%	1,364,000円	
	その他	年度途中申請 緊急対応分		45%	200,000円	
	計		3,032,651円		1,564,000円	
集落公共施設付随施 設整備事業 (フェンス等、集落公共 施設の上下水道接続 のための改修、福祉機 能増強のための改修)	みどり	公民館施設周辺フェ ンス設置と既存倉庫の 増設、施設敷地内分 離層周辺整備 フェンス L=12.8m 倉庫増設 分離層上蓋新設	448,200円	45%	201,000円	
	計		3,032,651円		201,000円	
公園施設整備事業 (遊び場、遊具、植栽等 の整備、公園造成)	真野	多目的公園のLED電灯新設	2基	143,640円	45%	64,000円
	小野	公民館前多目的広場整備	砕石舗装 A=574.1㎡	999,000円	45%	449,000円
	吉長	公園のフェンス更新	ネットフェンス W=8m H=3m	343,440円	45%	154,000円
	計		1,486,080円		667,000円	
集落墓地外構整備 事業 (墓地の法面、通路の 整備)	真野	墓地進入路のコンク リート舗装 コンクリート舗装 L=216m W=2m	2,500,000円	45%	1,125,000円	
	小野	墓地通路改修(アス ファルト舗装)工事 (第1工区)(第2工区) 第1:L=27m W=1.1m 階段工 1式 第2:L=32m W=1.5m 階段工 1式	1,163,160円	45%	523,000円	
	計		3,663,160円		1,648,000円	
合計					4,080,000円	

平成27年度一般会計予算

町づくり推進室

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

提出課 企画課
(目)7. 企画費

(単位:千円)

事業名		協働のまちづくり推進事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,636	1,687	690			997
(事業内容の説明)					
住民参画による分権型社会の仕組みとして、住民と行政が共に知恵を出し合い、住民が誇りに思えるまちをつくることを目指して、協働のまちづくりを実現するために下記の事業を実施する。					
1. 地域リーダー育成事業					
①ほうきまちづくり塾開催事業		事業費	85千円		
②ほうきまちづくり塾卒業生生活活動支援事業		事業費	205千円		
2. 協働のまちづくり啓発事業					
①協働のまちづくり普及促進事業		事業費	496千円		
3. 住民参画の仕組みづくり事業					
①地区別懇談会開催事業		事業費	20千円		
4. 地域自治活動機能強化事業					
①地域再編コーディネート事業		事業費	35千円		
②集落活性化モデル事業		事業費	445千円		
③パートナー職員制度事業		事業費	5千円		
④協働のまちづくり事業支援交付金(二部・日光)		事業費	396千円		
		合計	1,687千円		
(財源内訳)		鳥取県市町村交付金	690千円		
		一般財源	997千円		
		合計	1,687千円		

事業名		地域活動補助事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
410	270	135			135
(事業内容の説明)					
住民の自主性・主体性に基づいて行う地域の活性化のための活動に対して、地域活動補助金を交付することにより、住民活動のパワーアップを図るとともに、地域コミュニティを活性化し、個性を活かしたまちづくりの推進を図る。					
申請団体数		1件	交付申請済分	45千円	
			年度途中申請見込分	225千円(5件分)	
(財源内訳)		鳥取県市町村交付金	135千円		
		一般財源	135千円		
		合計	270千円		

地域活動補助金申請状況

団体名	事業内容	申請額	補助率	補助予定額
岩立	【地域資源活用事業】 岩立夏祭り(3年目)	100,000円	45% 上限45,000円	45,000円
合計		100,000円		45,000円

平成27年度一般会計予算

町づくり推進室

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

提出課 企画課
(目)7. 企画費

(単位:千円)

事業名	日光保育所利活用促進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
20,043	2,260		2,200		60
(事業内容の説明)					
<p>平成26年度に旧日光保育所を改築し、日光交流センターがオープンしたが、駐車場に水が溜まり来場者に不便をかけている。また、来場者からのアンケートにも駐車場の整備を要望する声が多くみられるため、園庭の一部をアスファルト舗装をして駐車場を整備する。</p> <p>また、年間を通じた定期的なイベントを開催することにより、地区内外との交流を更に深め施設のPRを行い、地区の中核施設として交流と活性化が図られるよう支援する。</p>					
1. 日光保育所利活用促進事業補助金					
(1) 補助対象 日光地区協議会					
(2) 事業内容					
① 駐車場・イベント広場整備 1,551千円					
駐車台数 13台					
舗装 A=430㎡					
区画線 L=53m					
② イベント補助 709千円					
○ 季節イベント					
開催時期 春・夏・冬					
開催規模 300名(100名×3回)					
内容 イベントに合わせたメニューの提供					
餅つき・そば打ち等のミニイベント					
○ 野菜収穫交流イベント					
開催時期 秋					
参加者数 募集予定 30名					
内容 野菜の収穫体験					
日光産の野菜を活用とした昼食					
ゲームによる交流					
※日光地区交流促進事業を統合					
○ PR事業					
パンフレット作成 A4(3ツ折) 5,000部					
(財源内訳)					
過疎対策事業債 2,200千円					
一般財源 60千円					
合計 2,260千円					

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)12. 鳥取県立フラワーパーク振興促進事業費
(単位:千円)

事業名	特産センター「野の花」管理運営事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,341	2,577				2,577
(事業内容の説明)					
○県立フラワーパーク内の特産センター「野の花」の維持管理運営と振興を図る。 維持管理運営経費について、伯耆町と南部町が2分の1ずつ負担。					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
維持管理負担	39	火災保険料ほか 77,995円 ×1/2			
事業負担金	261	施設警備料、広告宣伝、備品リース、イベント費用 520,330円 ×1/2			
事業振興負担	2,277	店長人件費、専務報酬 4,552,332円 ×1/2			
計	2,577				

(款)5. 農林水産業費 (項)1. 農業費 (目)13. 特産品販売所管理事業
(単位:千円)

事業名	大山望管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
10,595	9,154				9,154
(事業内容の説明)					
○町の特産品販売所として整備したふれあい交流ターミナル大山望の管理・運営を指定管理者が行なう。 ○指定管理者:エムケイ開発株式会社					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
施設修繕料	200	一般修繕			
火災保険料	18	町村有建物共済保険料			
指定管理料	8,192	ふれあい交流ターミナル大山望施設管理運営			
借上料	744	展示用オープンショーケース及び氷温庫リース			
計	9,154				

(款)5. 農林水産業費 (項)1. 農業費 (目)13. 特産品販売所管理事業
(単位:千円)

事業名	大山ガーデンプレイス管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
9,237	11,074				11,074
(事業内容の説明)					
○町の特産品販売所として整備した大山ガーデンプレイスの管理・運営を指定管理者が行なう。 ○指定管理者:伯耆町地域振興株式会社					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
施設修繕料	1,352	一般修繕 200,000円			
		本館レストラン ロールカーテン取替 1,152,000円			
火災保険料	312	町村有建物共済保険料 312,000円			
指定管理料	4,680	大山ガーデンプレイス施設管理運営 4,680,000円			
工事請負費	4,730	屋根及び外壁塗装工事(本館及びボイラー室) 4,730,000円			
計	11,074				

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	中小企業等緊急支援事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
100	300				300
(事業内容の説明)					
中小企業の経営基盤の強化や新分野進出など積極的な経営改善を行う事業者に対し、資金調達及び雇用対策の面から支援を行い、負担軽減及び経営の安定を図る。					
(補助金)					
○伯耆町小規模事業者等経営改善資金利子補給補助金					
・補助対象 経営改善のため金融機関から融資の実行を受けた伯耆町内の小規模事業者					
・補助額 償還に係る利子の5割以内で36箇月まで					
(積算)					
融資額5,900,000円×年利1.35%×1/2×5件=199,125円(見込み)					
(助成金)					
○伯耆町中小企業緊急支援助成金					
・補助対象 国の「中小企業緊急雇用安定助成金」を利用する伯耆町内の中小企業					
・補助額 申請手続等を行う際の委託料等の5割以内 (※上限50,000円)					
(積算)					
上限額50,000円×2件=100,000円(見込み)					
(1件当たりの上限) (見込件数)					
50,000円 × 2件 = 100,000円					

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	本気で頑張る産業支援事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,000	4,000				4,000
(事業内容の説明)					
積極的に地域特産品振興を図るため、町内グループ、企業等が本格的な事業化・商品化を行う場合、その事業段階に応じた集中支援を行う。					
(事業内容) 平成20年度からの実施状況(平成26年度は見込み)					
	特産品等開発支援	市場開拓	競争力強化	国・県等制度利用	計
平成20年度	1件 1,000,000円	1件 250,000円	2件 221,928円	1件 70,557円	5件 1,542,485円
平成21年度	2件 2,000,000円	0件	2件 260,000円	5件 1,182,000円	9件 3,442,000円
平成22年度	1件 1,000,000円	1件 153,000円	1件 202,000円	1件 500,000円	4件 1,855,000円
平成23年度	0件	1件 250,000円	1件 224,000円	5件 1,385,000円	7件 1,859,000円
平成24年度	0件	2件 500,000円	1件 250,000円	3件 1,105,000円	6件 1,855,000円
平成25年度	0件	1件 250,000円	0件	5件 1,494,000円	6件 1,744,000円
平成26年度	0件	1件 250,000円	1件 250,000円	3件 1,106,000円	5件 1,606,000円
※枠計上					

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工振興費 (単位:千円)

事業名	地域イベント事業(盆踊り花火大会)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,100	1,100				1,100
(事業内容の説明)					
○健全なレクリエーションによって、町民相互に心豊かな人間性と郷土愛の精神を養い、親睦を図り、明るい伯耆町の伝統文化発展に寄与する目的で大会を実施する。					
[本年度計画]					
・開催日 平成27年8月15日					
・開催場所 岸本中学校グラウンド					
・内容 ・花火大会補助金 1,100,000 円 (補助金交付先:きしもと豊年盆踊り花火大会実行委員会)					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
事業運営補助金	1,100	きしもと豊年盆踊り花火大会補助金 (内容) 煙火代、盆踊り参加賞等に補助 事業費(平成26年度実績) 2,559千円			
計	1,100				
※事業費は、盆踊り花火大会実行委員会における平成26年度実績額を計上。					

(款) 6. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 観光費 (単位:千円)

事業名	ふれあいの森等管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,626	4,625				4,625
(事業内容の説明)					
○ふれあいの森・交流の森・溪流植物園の管理・運営を指定管理者が行なう。					
(事業計画)					
○指定管理者:丸山生産森林組合、伯耆町地域振興株式会社、岸本ガーデンクラブまちづくり協議会 実施内容:除草及び除草剤散布、トイレ管理、施設内見回り、キャンプ場管理					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
施設修繕料	50	一般修繕 50,000円			
火災保険料	38	町村有建物共済保険料 38,000円			
指定管理料	4,537	ふれあいの森ほか施設管理運営 4,537,000円			
計	4,625				

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位:千円)

事業名	鬼ミュージアム・おにっ子ランド管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,483	5,282			57	5,225
(事業内容の説明)					
○おにっ子ランド等施設の維持管理を行い、利用促進と来訪者の快適な利用に寄与する。 なお、おにっ子ランドは12～3月を冬季休園とする。					
○管理委託内容・管理委託先:南部広域シルバー人材センター ・施設内及び施設周辺の草刈、トイレ清掃作業実施					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
施設修繕料	200	一般修繕	200,000円		
保守点検委託料	241	・ローラー滑り台保守点検	102,600円		
		・電気工作物保守	114,300円		
		・消防設備保守点検	24,000円		
管理業務委託料	2,510	・シルバー人材センター委託料	1,462,000円		
		・法面除草委託	1,048,000円		
光熱水費	2,177	電気料等	2,177,000円		
火災保険料	115	町村有建物共済保険料	115,000円		
通信運搬費	39	事務所電話代	39,000円		
計	5,282				

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位:千円)

事業名	観光イベント一般			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
2,500	2,000		1,200	800
(事業内容の説明)				
<p>伯耆町の観光イベントである「フェスティバル・ディア・マスミズ」、「大山ペンション村祭」、スキー場開き祭及び「とっとりバーガーフェスタVol.7」への補助を行なう。</p> <p>○フェスティバル・ディア・マスミズ ・開催予定日 平成27年7月下旬 ・開催場所 大山榊水高原 ・来場見込 2,000人 榊水の地蔵尊祭を起源とし、現在では本町の観光を代表するイベントであり、また、伯耆町をPRするうえで重要なイベントとなっている。町内だけでなく町外からの来客も多く、実行委員会を組織し、地域活性化の一環として実施している。</p> <p>○大山ペンション村祭 ・開催予定日 平成27年6月上旬 ・開催場所 大山ペンション村 ・来場見込 2,500人 大山ペンション村は、大山の恵まれた自然環境に「洋風」の建物がマッチした宿泊地である。個々のオーナーの人柄や地元食材をふんだんに使ったランチが好評でリピーターも多い。大山ペンション村祭実行委員会は「手づくりのおもてなし」をコンセプトに工夫をこらしたイベントを開催している。</p> <p>○とっとりバーガーフェスタVol.7 ・開催予定日 平成27年8月下旬(鳥取県予選) 平成27年10月中旬(本選) ・開催場所 大山博労座駐車場ほか 食のみやこ鳥取県にふさわしいイベントとして、全国各地のご当地バーガーが集結する食の祭典である。本選においては、約40の出展バーガーの中から「ご当地バーガーグランプリ」を決する。本選のほか、県内予選会など、会場別に複数のイベントを行う。</p> <p>○大山榊水高原スキー場開き祭 ・開催予定日 平成27年12月下旬 ・開催場所 大山榊水高原 ・来場見込 300人</p>				
(事業費内訳)				
区分	予算額(千円)	説明		
事業運営補助金	1,200	フェスティバル・ディア・マスミズ実行委員会補助金(過疎債充当)		
	200	大山ペンション村祭実行委員会補助金		
	500	とっとりバーガーフェスタ実行委員会補助金		
	100	大山榊水高原スキー場開き祭補助金		
計	2,000			
※「過疎対策事業債」を充当。 充当額 1,200千円				

平成27年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位:千円)

事業名		伯耆町PR情報発信事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
843	1,724				1,724
(事業内容の説明)					
○県観光連盟等が開催する観光イベントや、旅行会社を対象とした商談会等へ参加し、パンフレット配布、観光素材等の紹介等を行い、本町への観光客入込数増加を図る。					
(事業計画)					
○PR情報発信 ・観光イベント、商談会参加 ・パンフレット等印刷 ・観光看板改修					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
普通旅費	150	観光イベント、商談会、物産展参加旅費			
消耗品費	148	観光イベント対応消耗品			
印刷製本費	801	観光パンフレット印刷、クリアファイル作成			
修繕費	486	柵水地区観光看板改修			
委託料	113	交通量調査委託料(柵水高原地内で春秋の2回)			
使用料及び賃借料	26	観光看板用地土地借上料及び駐車場使用料			
計	1,724				

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位:千円)

事業名		観光地魅力づくり事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
6,216	9,308		9,300		8
(事業内容の説明)					
柵水高原では、駐車場をはじめとし、多目的広場、高原内遊歩道、野営場について、環境省による継続的な整備が進められている。					
伯耆町においても、観光地の総合的な整備という観点から、前年度に引き続き整備を行うこととし、平成27年度については、展望台を中心とした横手道周辺から第3リフト山頂降場周辺に係る擬木柵及び階段、ベンチの改修を行い観光地の魅力づくりを図る。					
○柵水展望台周辺改修工事…擬木柵、階段、ベンチ6基 施工面積166㎡					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
工事請負費	9,308	柵水高原展望台周辺整備工事(過疎債充当)			
計	9,308				
※「過疎対策事業債」を充当。 充当額 9,300千円					

平成27年度索道事業特別会計予算

(款)1. 索道事業費 (項)1. 索道事業管理費 提出課 商工観光課
 (目)1. 索道事業管理費 (単位:千円)

事業名	索道事業管理費				
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
国・県支出金			起債	その他	
42,188	44,580		28,500	10,749	5,331

(事業内容の説明)

本事業は、榎水高原にて運行している、索道施設の管理運営を行うもので、平成18年9月1日から指定管理施設となっている。

施設及び設備は町の財産であり、財産維持に係る修繕は町が実施すると規定されているため、施設及び備品修繕料、火災保険料、土地借上料等を計上し施設の健全な維持に努める。

平成27年度においては、施設修繕として、第1、第2スキーリフト統合改修として、中間停留所設置及び塗装工事のほか、高圧気中開閉器取替修繕を予定、備品修繕については、圧雪車の点検整備を予定している。

なお、老朽化による突発的な故障等も想定されるため、一般修繕及び振動検査の実施も予定している。

(事業計画)

○索道施設修繕

- ・施設一般修繕 点検状況及び振動検査並びに指定管理者との協議による 2,000千円
- ・リフト修繕
 - 1) 第1、第2スキーリフト統合整備 中間停留所設置及び塗装工事 28,574千円
 - 2) 第2スキーリフト、第3リフト 各索道油圧緊張ユニット交換修繕 5,832千円
 - 3) 高圧気中開閉器取替修繕 第3リフト用高圧開閉器の交換修繕 464千円

○備品修繕 圧雪車点検整備費用 1,565千円

○土地借上料 環境省(5,499㎡)、岩立区(46,213㎡)、金屋谷区(73,246㎡) 1,917千円

(事業費内訳)

(単位:千円)

項目	予算	財源内訳			説明
		一般財源	起債	繰入金	
施設修繕料(一般分)	2,000	1,960		40	
施設修繕料(リフト分)	34,870		28,500	6,370	
備品修繕料	1,565			1,565	圧雪車点検整備
火災保険料	139			139	
点検委託料	324	324			リフト振動検査
土地借上料	1,917	1,917			
地方債元金償還金	3,397	1,019		2,378	圧雪車購入分
地方債利子償還金	368	111		257	圧雪車購入分
計	44,580	5,331	28,500	10,749	

(財源の説明)

(単位:千円)

項目	予算	説明
施設貸付収入	5,330	
雑入	1	
一般会計繰入金	10,749	
過疎対策事業債	28,500	第1、第2スキーリフト統合整備分
計	44,580	

平成27年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	健康教育事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,528	4,454	520		556	3,378
(事業内容の説明)					
①個別健康教育 すべての生活習慣病の誘因と言っても過言でない糖尿病に対して個別の生活習慣を考慮し医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等専門スタッフによる効果的な個別指導、相談を行う。 ○耐糖能異常検査・保健指導					
②集団健康教育 生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識や実践力の普及を図る。 ○糖尿病予防教室 ○生活習慣病予防講演会 ○ウォーキングの集い 10月24日(土) ○食生活改善推進員伝達講習 ○食生活改善推進員養成講座【3年毎に開催】 ○水中まめまめクラブ ○高齢者健康運動教室(まめまめクラブ) 開催予定回数:348回(58会場×年間6回) ○スクエアステップ教室【新規事業】 ○脂質異常症予防教室【新規事業】 ○ヘルシーメニューの普及【新規事業】					

事業名	検診事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
28,614	32,297	1,263			31,034
(事業内容の説明)					
【事業概要】 がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を行う。 検診の形態は、公益財団法人鳥取県保健事業団に委託して実施する集団検診と、各医療機関に委託して実施する医療機関個別検診の2種類。					
【実施内容】 ○がん検診 [集団検診] ・胃がん検診 ・ピロリ菌抗体検査 ・結核肺がん検診 ・大腸がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨量検診 ・肝炎ウイルス検診 ・前立腺がん検診 [医療機関委託検診] ・胃がん検診 ・ピロリ菌抗体検査 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨粗鬆症検診 ○健康カレンダーの全戸配布					

平成27年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 保健事業費
(単位:千円)

事業名		健康ポイント制度事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,101	1,111				1,111
<p>(事業内容の説明)</p> <p>「健康づくり」への動機付け及び啓発、健診受診率の向上を目的に、「健康ポイント制度」を継続実施する。</p> <p>対象事業に参加した者にポイントを付与し、10ポイントに達した者に利用券(500円相当)を贈る。</p> <p>また、新たな取り組みとして、年間(1/1~12/31)100ポイント【ポイントカード10冊分】を達成された方にプレミアムポイント達成証・副賞を贈呈し表彰する。</p> <p>○ポイント対象事業 住民健診・人間ドック・健康づくり講演会・まめまめクラブ等の健康教室 プール利用(ゆうあいパル、B&G)等</p>					

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 予防費
(単位:千円)

事業名		任意予防接種助成事業																																	
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																																	
		国・県支出金	起債	その他	一般財源																														
4,056	2,792	122			2,670																														
<p>(事業内容の説明)</p> <p>1. 目的 おたふくかぜワクチン、B型肝炎ワクチン、ロタウイルスワクチンについては、平成26年に引き続き接種費用の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減につとめる。水痘ワクチンについては平成26年10月に法定接種化となったが、法定接種対象とならない3歳以上13歳未満の小児及び児童に対するの任意助成を継続する。</p> <p>2. 助成内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワクチン名</th> <th>助成回数</th> <th>助成対象</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おたふくかぜ</td> <td>1回</td> <td>1歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>1回</td> <td>3歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロタ</td> <td>ロタリックス</td> <td>生後6週以上24週未満の小児</td> <td>6,000円</td> </tr> <tr> <td>ロタテック</td> <td>生後6週以上32週未満の小児</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td>3回</td> <td>生後2ヶ月以上2歳未満の小児 ※B型肝炎母子感染予防事業対象者及び汚染事故は除く。</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風しん</td> <td>風疹ワクチン</td> <td>風しん抗体価検査で低値と判断された妊娠を希望する女性。または妊婦の夫</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>MRワクチン</td> <td></td> <td>5,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生活保護受給者は、全額助成</p> <p>3. 助成方法 町内外医療機関問わず、償還払い</p>						ワクチン名	助成回数	助成対象	助成額	おたふくかぜ	1回	1歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童	2,000円	水痘	1回	3歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童	3,000円	ロタ	ロタリックス	生後6週以上24週未満の小児	6,000円	ロタテック	生後6週以上32週未満の小児	4,000円	B型肝炎	3回	生後2ヶ月以上2歳未満の小児 ※B型肝炎母子感染予防事業対象者及び汚染事故は除く。	2,000円	風しん	風疹ワクチン	風しん抗体価検査で低値と判断された妊娠を希望する女性。または妊婦の夫	3,000円	MRワクチン		5,000円
ワクチン名	助成回数	助成対象	助成額																																
おたふくかぜ	1回	1歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童	2,000円																																
水痘	1回	3歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童	3,000円																																
ロタ	ロタリックス	生後6週以上24週未満の小児	6,000円																																
	ロタテック	生後6週以上32週未満の小児	4,000円																																
B型肝炎	3回	生後2ヶ月以上2歳未満の小児 ※B型肝炎母子感染予防事業対象者及び汚染事故は除く。	2,000円																																
風しん	風疹ワクチン	風しん抗体価検査で低値と判断された妊娠を希望する女性。または妊婦の夫	3,000円																																
	MRワクチン		5,000円																																

平成27年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 4. 予防費

(単位:千円)

事業名	インフルエンザ予防接種事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
13,027	13,465				13,465
(事業内容の説明)					
1. 目的 初冬から春先にかけて毎年流行するインフルエンザの蔓延予防と重症化を予防するため全町民に対して予防接種費用の助成を行う。10月に助成券、受診券を送付する。					
2. 対象者 ①65歳未満 (町独自の任意予防接種補助対象者) … 補助金 ②65歳以上 (予防接種法における定期予防接種対象者) … 委託料					
3. 助成内容・方法 ①65歳未満 1,000円/回 町内医療機関で接種する場合は現物給付、町外の場合は償還払 ②65歳以上 2,700円/回 委託医療機関での現物給付のみ ※ 生活保護受給者は、いずれも全額助成					

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 介護保険事業費

(単位:千円)

事業名	一般介護予防事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,308	2,607			1,759	848
(事業内容の説明)					
【事業概要】 一般の高齢者や要支援状態になるおそれのある高齢者を対象とし、介護予防に関する講演会や運動器機能の向上、栄養改善・口腔機能の向上など介護予防のための教室を開催する。 また、認知症のおそれのある者、予防が必要な者を「物忘れ相談会」などの機会を通じて把握し、頭の活性化訓練のための教室を行うことにより、認知症の早期発見と予防を図る。 平成27年度からは、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送るために、地域や介護保険施設等においてボランティア活動を行う「介護支援ボランティア」を養成するための研修を実施する。					
【事業メニュー】 ・介護予防講演会 年2回 ・介護予防教室 (2回/教室) ×2会場 (2会場で、栄養改善教室、口腔機能向上教室を合わせて実施) ・運動機能向上フォローアップ教室 月1回×12月×2会場 ・運動機能向上教室 (一般高齢者対象) 月1回×12月×1会場 ・物忘れ相談会 年1回×2か所、認知症予防事業評価 年1回×2か所 ・認知症予防教室 年96回 (月2回×12月×4会場) ・出前型介護予防教室 16集落程度 ・【新規】介護支援ボランティア養成研修事業 2講座					

平成26年度一般会計補正予算(第7号) <繰越事業>

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

提出課 福祉課
(目) 1. 社会福祉総務費
(単位: 千円)

事業名	低所得者向け灯油等購入助成事業				
前回までの 予算額	補正額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	8,678	8,678			0
(事業内容の説明)					
【事業の目的】 地域の消費喚起及び生活支援として、家庭用の燃料費の一部について助成することにより、福祉的配慮を要する家庭の負担の軽減を図ることを目的に灯油等の購入助成を行う。					
【助成対象世帯】 ・生活保護世帯 ・65歳以上の高齢者のみで住民税非課税の世帯 ・高校生までの児童がいる子育て世帯					
【助成方法等】 ①灯油等購入券5,000円分(1,000円×5枚)を配布 ②町内の協定灯油等小売店において、購入券と引き換えに灯油、ガソリン、軽油等を購入 <協定小売店> 石崎石油、大森石油店、岸本ピークル給油所、真木自動車米子東給油所、鳥取西部ジェイエイサービス岸本給油所、コメリハード&グリーン溝口店、ジュンテンドー伯耆店					
【購入券の配布】 平成27年3月に自宅等へ郵送 ※「子育て世帯」のうち、高校生のみの世帯については、手続きが必要。 <手続き方法等> 高校等に在学中であることが確認できる書類を、5月31日までに福祉課又は分庁総合窓口課へ提出。確認後、購入券を郵送。					

(款) 3. 民生費

(項) 2. 児童福祉費

(目) 1. 児童福祉総務費
(単位: 千円)

事業名	乳児家庭保育支援事業				
前回までの 予算額	補正額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	17,048	17,000			48
(事業内容の説明)					
【事業の目的】 少子化対策と乳児期の親子の愛着形成を図るため、0歳児を保育する保護者に対し、乳児家庭保育支援手当を支給して経済的支援を行う。					
【助成対象及び内容】					
対象者	給付期間		給付基準		
育児休業給付金受給者	乳児の月齢が満9月に到達した月から満12月に到達する月までの間 (支給率が2/3から1/2となる月～児童が満1歳に到達する月までの間) ※最大4ヶ月間		育児休業給付金月額額の支給算定月額額の1/6(上限72,500円)		
育児休業給付金受給者以外	乳児の月齢が満4月に到達した月から満12月に到達する月までの間 ※最大9ヶ月間		児童1人につき33,000円/月 ※2人の場合 5,000円/月を加算 3人目以降3,000円/月を加算		
【支給制限】 以下の場合に該当するときは支給しない。 ・保育施設等に預けた場合(または、入所措置の対象となった場合) ・児童手当法の所得制限額を超過し、特例給付の対象となった場合 ・生活保護法による保護を受けている場合 ・保護者又は乳児の居住の理由が里帰り出産等一時的なものである場合 など					

平成27年度一般会計予算

提出課 福祉課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 6. 諸費

(単位:千円)

事業名	戦没者追悼式				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
397	389				389
(事業内容の説明)					
戦没者の霊を弔うとともに、平和への誓いを新たにするため、戦没者追悼式を実施する。					
○実施時期：平成27年9月上旬					
○実施場所：伯耆町農村環境改善センター 参考：伯耆町戦没者数590柱					

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位:千円)

事業名	温泉プール利用促進健康づくり事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,220	2,050				2,050
(事業内容の説明)					
町の資源である温泉プールを利用した、町民の自発的・積極的な体力づくりによる健康の改善・保持・増進を図ることを目的に、岸本温泉ゆうあいパル内温泉プールの無料利用券を交付する。					
水中では「浮力」によって下半身への負担が少なく、腰痛や関節痛などのトラブルを抱えた人でも安全に運動することができる。また、水中での運動は、水の抵抗によって歩くだけでも相当の運動量になりますので体力づくりに有効で、全身の筋肉が伸びて血行が良くなるなど生活習慣病予防にも適している。					
【対象者】町民（医師から運動の制限を受けていない方）					
【助成方法等】					
①個人利用登録者への助成					
・申請によって、無料券を交付（最大48回分）					
・「年度内の残り月数×4回分」の回数券を交付。使用期限は年度内。					
②グループ利用登録者への助成					
・2人以上のグループでの申請によって、利用券を交付（最大48回分）					
・「年度内の残り月数×4回分」の回数券を交付。使用期限は年度内。					
・グループ全員が当初に交付した利用券をすべて使用した場合には、再申請により、「残り月数×4回分」の利用券を交付。					
③モニター利用登録者への助成					
・申請によって、無料券を交付（最大96回分）					
・「年度内の残り月数×8回分」の回数券と体重、体脂肪率などを記録する健康プール記録カードを交付。使用期限は年度内。					
・モニター利用を基にする方は、水中ウォーキングの効果を検証するために体重等の記録を必須とする。					
【利用施設】岸本温泉ゆうあいパル 温泉プール					

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
			国・県支出金	起債	その他	一般財源
(新) 生活困窮者自立支援事業	0	8,135	4,344			3,791

(事業内容の説明)

【事業概要】

生活困窮者のための相談窓口を新たに設置する。相談窓口では、相談支援員が生活の状況等を聞き取りし、必要な支援のプラン作成等を行い、相談者に寄り添いながら自立に向けた支援を実施する。

○自立相談支援事業

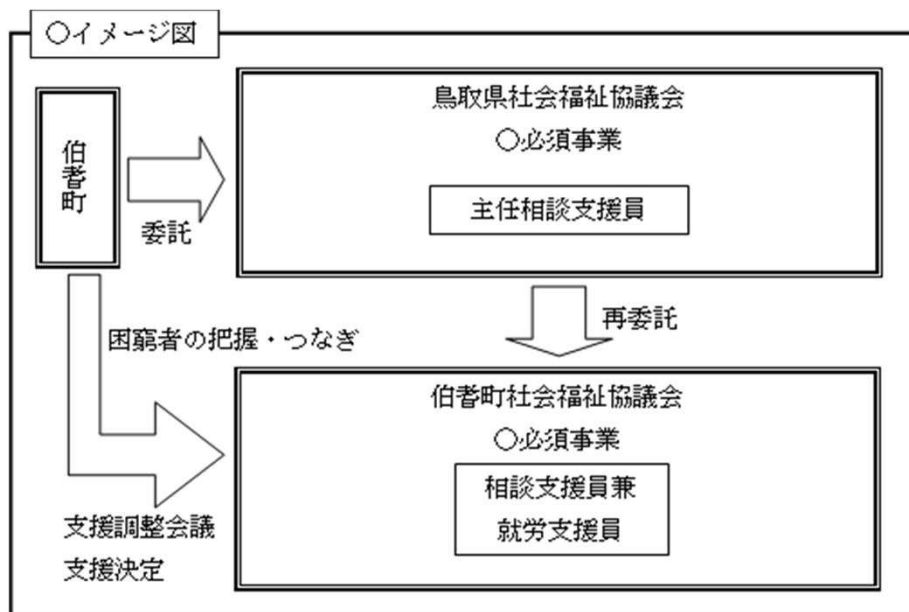
新たに生活困窮者に対する相談窓口を設置し、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3職種を配置する。相談窓口では、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を実施する。

○住居確保給付金

離職を理由に住居を失う恐れがある者に有期で家賃等を支給する。

【実施体制】

伯耆町社協に相談窓口を設置し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の申請受付を行う。相談者の相談内容から必要な支援を検討し、必要に応じて役場、関係機関等と連携して当該相談者の支援を行う。



【連絡先】

伯耆町社会福祉協議会

電話：0859-68-4635

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名		針、灸、マッサージ施術費助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
300	240			240	0
(事業内容の説明)					
はり・きゅう・マッサージ施術を受ける高齢者へ、1回1,000円の助成をする。					
【対象者】 下記の2つに該当する方					
1. 後期高齢者医療に該当する者。					
2. 所得税が非課税の者					
【助成金額】 1,000円/回の助成券交付（1人あたり年12回まで）					
【利用施設】 鳥取県保健鍼灸マッサージ師協会西部支部に加盟する会員及び施設					

事業名		敬老会助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,173	5,334				5,334
(事業内容の説明)					
多年にわたり地域社会に尽くした高齢者を敬愛し、地域ぐるみで長寿を祝い、地域の中で支えあう安心のまちづくりを促進するため、各自治会で行われる高齢者（町内の77歳以上の者）の長寿を祝う催し等に係る費用を助成する。					
【対象者】 各年度8月1日現在で77歳以上の者					
【補助額】 ①各地区公民館等で敬老会該当者を主とした敬老会を開催する事業 3,500円/人（上限）					
②敬老会該当者に対して記念品の配布のみを行う事業 2,000円/人（上限）					
【補助金申請スケジュール】					
8月上旬 補助金申請					
9月上旬 補助金概算交付					
9月中旬 各地区にて敬老会事業実施					
10月中旬 補助金実績報告					

事業名		敬老の日贈り物事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
268	262				262
(事業内容の説明)					
長寿を祝うため町から贈り物をする。					
【対象者】 本年度90歳、100歳、105歳の年齢になる方、及び町内最高齢者の方					

(款) 3. 民生費

(項) 2. 児童福祉費

(目) 1. 児童福祉総務費

(単位：千円)

事業名	出産祝事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,400	2,400				2,400
(事業内容の説明) 出産を奨励するため、祝金を支給する。 【対象者】 住民基本台帳に登録されている者 【支給額】 出生時に子ども一人につき3万円					

(款) 3. 民生費

(項) 2. 児童福祉費

(目) 6. 子育て世帯臨時特例給付金支給費

(単位：千円)

事業名	子育て世帯臨時特例給付金支給事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
13,900	5,194	5,191			3
(事業内容の説明) 消費税の引き上げに伴う子育て世帯への影響緩和、消費の下支えを図る観点から、平成26年度に引き続き臨時的な給付措置として実施する。 【対象者等】 ○支給対象者 基準日（平成27年5月31日）において、平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く。）の受給者。 ○対象児童 支給対象者の平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く。）の対象となる児童。 (臨時福祉給付金の対象者を含む) 【基準日】 平成27年5月31日 【給付額】 児童1人あたり3,000円 【申請手続】 基準日に住民登録がされている市町村に申請 【スケジュール】 (予定) 平成27年4月 制度周知、広報 6月 申請書の送付（児童手当の現況届と同時） 7月～ 申請受付～審査～決定 10月～ 給付金支払					

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	太陽光発電システム助成事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
13,800	9,840	4,920			4,920
(事業内容の説明)					
町内の自ら居住する住宅に太陽光発電システム、太陽熱温水器及び薪ストーブ等を導入する者に対し補助金を交付する。					
【補助額】					
・太陽光発電システム設置費補助金(1キロワット当り90千円 上限額:1件当り4キロワット) 360千円×20件 7,200千円					
・太陽熱温水器設置費補助金(上限額:1件当り70千円) 70千円×30件 2,100千円					
・薪ストーブ、木質ペレットストーブ設置費補助金(上限額:1件当り180千円) 180千円×3件 540千円					
合 計 9,840千円					
【財 源】					
鳥取県家庭用発電設備等導入推進補助金(補助率1/2) 4,920千円					

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 11. 交通安全対策費

(単位:千円)

事業名	交通安全施設設置事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,675	3,528				3,528
(事業内容の説明)					
道路交通の安全のため、第3次交通安全施設等整備計画(3年目)に基づき交通安全施設の設置、修繕を行う。					
・3ヶ年計画 ガードレール、路面標示等 14箇所 3,028千円					
・緊急修繕 500千円					
合 計 3,528千円					

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃処理費

(単位:千円)

事業名		廃棄物処理管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
239,882	226,617	334	7,900	5,708	212,675
(事業内容の説明)					
廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の減量化及び資源化の推進を図る。 可燃ごみの減量化を推進するため、県の補助を活用し新たな取り組み始める。					
【新規事業】 ・ごみ減量化啓発チラシ等作製 ⇒マイバック、マイ箸、マイボトル等の啓発 ・リユース食器利用補助金の創設 ⇒経費の4/5を補助し、自治会等が主催するイベントでリユース食器の利用促進を図る。 【リユース食器】 紙コップ等のように使い捨てずに、再利用(リユース)できる食器。 社会福祉法人等の運営により、返却時洗浄不要で借りることが事ができる。					
(町事業分)					
	(1) 消耗品費(指定ごみ袋作製等)		2,572千円		
	(2) 啓発チラシ等印刷製本費		89千円		【新規】
	(3) 不法投棄廃棄物処理委託料		558千円		
	(4) 不燃物収集業務委託料		19,531千円		
	(4) 発泡・軟質プラ等処理委託料		649千円		
	(5) 可燃ごみ収集業務委託料		9,864千円		
	(6) 使用済乾電池・廃蛍光管処理委託料		1,022千円		
	(7) 布類処理委託料		801千円		
	(8) 混合粗大ごみ処理委託料		1,124千円		
	(9) 廃棄物減量等推進協議会交付金		1,079千円		
	(10) リユース食器利用補助金		23千円		【新規】
	(11) その他		513千円		
(組合事業分)					
	(1) 鳥取県西部広域行政管理組合負担金				
	・不燃物処理等負担金		113,017千円		
	・し尿処理等負担金		31,966千円		
	(2) 南部町・伯耆町清掃施設管理組合負担金				
	・運営費負担金		42,309千円		
	・可燃ごみ焼却処理負担金		1,500千円		
		合計	226,617千円		
【財 源】					
	・鳥取県4R推進補助金(上記新規事業に対する補助)		55千円		
	・鳥取県不法投棄廃棄物処理事業補助金		279千円		
	・指定ごみ袋販売収入		5,310千円		
	・混合ごみ搬入手数料		183千円		
	・一般廃棄物処理業許可手数料		215千円		
	・合併特例事業債		7,900千円		
	(西部広域負担金分)				

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 5. 農林水産業費

(項) 1. 農業費

(目) 10. 地籍調査費

(単位:千円)

事業名	地籍調査事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
60,741	75,546	52,500			23,046

(事業内容の説明)

一筆毎に土地について、その所有者、地番及び地目等に関する確認調査を実施し、公共座標を基準として測量を行い、地籍の明確化を図る。

【事業費内訳】

◎地籍調査事業

調査地区	事業内容
清原地区(清山川北側 完了見込)	一筆地調査(現地立会)、面積測量 一筆地調査の基礎となる基準点設置 本閲覧・法務局送付 等 事前調査、事前測量 法務局成果送付・数値情報化 公図・所有者調査
大江～吉定地区(国道周辺 完了見込)	
小野地区(南側森林部完了見込・集落部 及び 南部町側 立会工程)	
上細見・木戸口地区(国道周辺以外 立会工程)	
上野～清原地区(上野集落 及び 上細見側森林部 立会工程)	
小町・金廻地区(事前調査)	図面修正、再立会・再測量 等
久古・父原・荘地区(継続:調整中)	

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃処理費

(単位:千円)

事業名		生ゴミ減量化事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,472	2,203	390			1,813
(事業内容の説明)					
<p>集落及び食品残渣を排出している事業所に大型生ゴミ処理機の貸出しを行うとともに、町内のモデル集落、公共施設から排出される生ゴミの堆肥化を行うことにより生ゴミの減量化を図る。</p> <p>また、生ゴミ処理容器を購入する者に対し補助金を交付するとともに、普及啓発を目的にモニター募集と堆肥による成果品(花卉・野菜等)のコンテストを実施する。</p>					
1.家庭ごみの減量化					
(1)大型生ゴミ処理機の維持管理					
設置箇所:こしが丘区					
平成25年6月から稼働開始。年間で約7tのごみ減量化					
生ゴミ処理施設にかかる光熱水費・保守料					314千円
生ゴミ収集運搬及び処理施設管理委託料					252千円
その他					219千円
(2)モデル集落による家庭生ゴミの堆肥化 【新規】					
モデル集落を選定し、家庭生ゴミの収取運搬を委託する。処理については公共施設の生ゴミ堆肥化と併せて実施する。					
生ゴミ収集運搬委託料・事業に係る消耗品費					519千円
(3)生ゴミ処理容器購入補助金 53千円					
(4)コンポスト普及啓発事業(モニター募集件数:20件) 【新規】					
モニター用コンポスト・プランター等消耗品費					263千円
					1,620千円
2.町内公共施設から排出される生ゴミの減量化					
給食センター及び保育所から排出される生ゴミを、町内に堆肥化処理施設をもつ業者に委託して堆肥化する。年間約11tのごみ減量化					
生ゴミ処理委託料					583千円
【財 源】					
鳥取県4R推進補助金					390千円

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費

(単位:千円)

事業名		町道管理事業 (町道清掃ボランティア支援事業)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
250	760				760
(事業内容の説明)					
ボランティアの育成・支援するために、町道の草刈り等を実施した集落等に、報償金を支払う。					
■対象となる事業					
「集落と集落」または「集落と公共施設」を結ぶなど、幹線的な役割を果たす町道の清掃1回の作業延長が200メートル以上の路線で、年2回までの作業が対象					
■報償金の額					
年間の作業延長により、次に掲げる額					
		作業延長 (年間の累計)	報償金の額		
		200メートル以上 500メートル未満	10,000円		
		500メートル以上 1キロメートル未満	20,000円		
		1キロメートル以上 3キロメートル未満	30,000円		
		3キロメートル以上 5キロメートル未満	50,000円		
		5キロメートル以上	70,000円		
■参考 平成26年度実施団体数 17団体					
平成27年4月1日現在の申請団体数 15団体					

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 3. 道路新設改良費

(単位:千円)

事業名		町道改良事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
64,000	126,000	69,600	54,900	0	1,500
(事業内容の説明)					
昨年度から引き続き、町道籠原栃原線、町道岸本停車場線、町道岸本4号線の改良及び町道清山1号線、町道殿河内1号線の改良についての測量設計を行う。					
また、町内の幹線町道・主要町道のうち、公共交通機関通行や緊急車両進入の支障となる狭あい箇所について、改良の検討及び可能な箇所は実施を行う。					
【財 源】					
		社会資本整備総合交付金	69,600 千円 (補助対象額 千円×60%)		
		過疎対策事業債	27,600 千円		
		合併特例事業債	27,300 千円		

平成27年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 3. 道路新設改良費

(単位:千円)

事業名		町道改良単独補助事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国・県支出金	起債	その他	一般財源	
7,575	5,742				5,742	
(事業内容の説明)						
地元施工の町道改良事業に対し補助を行う。						(単位:円)
事業主体	路線名	事業概要	申請額	認定額	補助率	補助額
坂長	坂長15号線	道路舗装 A=102㎡	693,360	693,360	60%	416,000
大寺	大寺7号線	グレーチング設置 N=6枚	216,000	216,000	60%	129,000
上野	上ミ上野線	道路舗装 A=450㎡	1,500,000	1,500,000	60%	900,000
添谷	溝口添谷線	道路側溝改良 L=39m	1,966,680	1,966,680	70%	1,376,000
栃原	丸林線	道路側溝改良 L=60m	2,500,000	2,500,000	70%	1,750,000
福岡	間賀線	道路拡幅 L=30m	1,674,000	1,674,000	70%	1,171,000
				計		5,742,000

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 5. 橋梁維持費

(単位:千円)

事業名		橋梁改修事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
20,000	20,000	12,000	7,600		400
(事業内容の説明)					
平成23年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、年次的に橋梁改修工事を実施する。 本年度は山陰橋の改修工事及び小林橋ほか2橋の調査設計を行う。					
【対象橋梁】					
・山陰橋(町道溝口添谷線) など					
【事業費の内訳】					
・調査設計業務委託料		5,000 千円			
・工事請負費		15,000 千円			
計		20,000 千円			
【財源】					
・社会資本整備総合交付金		12,000 千円 (補助対象額 20,000千円×60%)			
・合併特例事業債		7,600 千円			

平成27年度一般会計予算

(款) 5. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費 (単位:千円)

事業名	有害鳥獣駆除事業					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			一般財源
国・県支出金			起債	その他		
	3,072	4,572	1,924		403	2,245
(事業内容の説明)						
イノシシ等有害鳥獣による農作物等の被害を防止することを目的とした事業。						
イノシシ等による農作物等の被害は恒常化し、農家等の耕作意欲の衰退につながっており、こうした事態に対処するため、農家等が自衛手段として行う進入防止柵設置及び集落等でのイノシシ捕獲檻の購入に対して支援する。						
また、鳥獣駆除員の増員を図るため、狩猟免許取得に必要な経費を助成する。						
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一般分) 3,042千円						
・集落、農家等が設置するイノシシ進入防止柵に対する補助						
金網等 2,420,000円×2/3=1,613,333円						
電気柵 2,142,900円×2/3=1,428,600円						
合計3,041,933円						
負担割合(県1/3 町1/3 集落等1/3)						
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一括購入分) 1,210千円						
・集落、農家等が設置するイノシシ進入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を						
町が各集落の要望を取りまとめ、一括購入する。						
ワイヤーメッシュ柵 1,210,000円						
負担割合(県1/3 町1/3 集落等1/3)						
○イノシシ捕獲檻購入補助金 150千円						
・集落が被害軽減のために購入するイノシシ捕獲檻の購入費用に1/2を助成						
@100,000円×3集落×1/2=150,000円						
○狩猟免許取得経費助成事業(平成27年度新規事業) 170千円						
・狩猟免許取得に必要な経費を助成						
①銃猟免許経費8,942円×10人=89,420円						
②わな猟免許取得経費8,042円×10人=80,420円						
合計 4,572千円						

平成27年度一般会計予算

提出課 産業課

(款) 5. 農林水産業費

(項) 3. 林業費

(目) 2. 松くい虫防除費

(単位:千円)

事業名	松くい虫防除事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
15,798	15,899	8,209			7,690

(事業内容の説明)

特別防除(空中散布)と伐倒駆除等を効果的に組み合わせて実施することにより、松くい虫の被害から松林を守る。

○事業費

区分 (補助率)	事業量	事業費 千円	県 補助金 千円	町費 千円	内容
特別防除 (5/10~ 6.5/10)	286ha	8,335	4,429	3,906	ヘリコプターによる薬剤散布 (実施区域:丸山、岩立、添谷、父原、船越)
被害防止 (1/2)		822	411	411	特別防除実施に伴う被害防止対策 ・被害防除連絡協議会の開催 17千円 ・飛散防止剤、注意看板等の購入 423千円 ・養蜂移転補償 382千円
空中探査 (1/2)	34ha	719	359	360	緊急防除実施に伴い空中から探査を行い被害木を把握
緊急防除 (1/2)	50m3	1,387	693	694	ヘリコプターのガンズルによる薬剤散布 (実施区域:父原、船越)
伐倒駆除 (1/2)	100m3	1,519	759	760	被害木を伐倒後、薬剤処理し駆除 (実施区域:溝口地区、日光地区)
特別伐倒 (1/2)	150m3	3,117	1,558	1,559	被害木を伐倒後、チップ状に破碎し駆除 (実施区域:丸山)
合計		15,899	8,209	7,690	

平成27年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位:千円)

事業名	学校支援地域本部事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,150	5,801	3,867			1,934
(事業内容の説明)					
<p>地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図る。</p> <p>各関係団体等で実行委員会・地域教育協議会を設置し、学校支援事業の企画実施、地域コーディネーター等の養成・活動等を行う。</p>					
(活動計画)		(主なボランティア活動)			
地域コーディネーターの設置(1人)		＜学習支援型＞ 補習授業(伯耆未来塾)			
学校支援コーディネーターの設置(7人)		体験学習補助			
実行委員会(年4回)		本の読み聞かせ			
地域教育協議会(年1回)		戦争体験の講話 など			
事業成果報告会(年1回)		＜環境整備型＞ ペンキ塗り			
定例会(毎月)		花壇の清掃・除草			
		子どもと一緒に掃除 など			
(支出内訳)					
報償費	5,377 千円	地域・学校支援コーディネーター活動謝金、 実行委員会・地域教育協議会謝金等			
旅費	93 千円	研修会参加旅費			
需用費	171 千円	消耗品費等			
役務費	160 千円	通知郵券料・ボランティア活動保険			
計	5,801 千円				
(財源内訳)					
学校支援地域本部事業補助金(2/3)		3,867 千円(国1/3、県1/3)			

平成27年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	二部公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,498	2,356			101	2,255
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中、生涯学習の拠点のみならず、地域の活性化センターの役割を果たすため、住民が気楽に利用できるよう円滑な施設管理運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議委員)			53千円	
	賃金(町民運動会、たたらまつり補助臨時賃金)			266千円	
	旅費			17千円	
	需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕費等)			1,137千円	
	役務費(通信運搬費、火災保険料等)			113千円	
	委託料(保守点検委託料、施設管理委託料)			314千円	
	使用料及び賃借料(土地借上料、マット等使用料)			333千円	
	備品購入費(図書購入、消火器更新)			123千円	
	合計			2,356千円	
(財源内訳)					
	公民館使用料			1千円	
	伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入(対象:図書購入費)			100千円	

事業名	二部公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
580	627				627
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、多々楽学園、女性学級(町内全域対象)、たたらまつり(公民館まつり)等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(多々楽学園)					
二部地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
	報償費(講師謝金等)			49千円	
	旅費(町外研修職員旅費、講師派遣旅費)			13千円	
	小計			62千円	①
2. 女性学級					
町内に居住する女性を対象に、町内外研修、花づくり・料理講習会など年間8回程度開催する。					
	報償費(講師謝金)			20千円	
	旅費(町外研修職員旅費)			11千円	
	需用費(消耗品費)			11千円	
	小計			42千円	②
3. 生涯学習講座					
花づくり講習会、調理教室、夏休みお楽しみ、各種体験教室等の事業を開催する。					
	報償費(講師等謝金)			53千円	
	需用費(消耗品費)			16千円	
	小計			69千円	③
4. たたらまつり(例年2月中、土・日開催予定)					
二部公民館を会場に作品展示、農産物販売などを開催。期日、内容等は実行委員会で決定					
	報償費(特別展講師謝金)			30千円	
	需要費(消耗品費、食糧費等)			158千円	
	小計			188千円	④
5. 町民運動会二部地区大会					
地域住民の健康増進と親睦を深める事を目的に実行委員会方式で開催する。					
	負担金補助及び交付金(二部地区運動会補助金)			266千円	
	小計			266千円	⑤
	合計(①～⑤)			627千円	

平成27年度一般会計予算

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

提出課 教育委員会
(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名		溝口公民館管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,333	2,381			17	2,364
(事業内容の説明) 町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)		報酬(公民館運営審議会委員)		43千円	
		報酬(非常勤 館長1名)		1,920千円	
		旅費		34千円	
		需用費(消耗品費、食糧費、燃料費)		138千円	
		役務費(火災保険料等)		72千円	
		委託料(特殊建物定期調査)		150千円	
		使用料及び賃借料(マット借上料)		24千円	
		合計		2,381千円	
(財源内訳)		溝口公民館使用料	17千円		

事業名		溝口公民館生涯学習事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
697	753				753
(事業内容の説明) 各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(貴寿美学園) 高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間13回程度)					
		報償費(講師謝金等)		53千円	
		旅費		14千円	
		小計		67千円	①
2. 生涯学習支援講座					
(1) 成人講座(年4回程度) 成人を対象に、学習機会を提供し、親睦と交流を図る。					
		報償費(講師謝金)		20千円	
		賄材料費(調理実習の材料費)		8千円	
		需用費(消耗品費)		3千円	
		小計		31千円	②
(2) 子どもの体験活動の充実講座(年6回程度) 小中学生を対象に、いろいろな体験活動・郷土学習などを通して、子どもの豊かな心を育む。					
		報償費(講師謝金)、費用弁償(旅費)		38千円	
		賄材料費(調理実習の材料費)		7千円	
		需用費(消耗品費)		5千円	
		小計		50千円	③
(3) 未就学児保護者対象家庭教育支援講座(年1回程度) 未就学児保護者に学習する機会を提供し、家庭の教育力向上を図る。					
		報償費(講師謝金)		10千円	
		需用費(消耗品費)		3千円	
		小計		13千円	④
3. 町民運動会溝口地区大会の開催。実施時期:10月中旬 溝口地域の住民の健康維持と親睦を図るため、運動会を実施する。実行委員会方式で開催する。					
		負担金補助及び交付金(溝口地区運動会補助金)		368千円	
		小計		368千円	⑤
4. 公民館まつりの開催。実施時期:平成28年3月 公民館内外の活動の成果を発表し広く住民のふれあいと交流を図る。					
		報償費(講師謝金)		36千円	
		需用費(消耗品費、食糧費)、備品購入費		188千円	
		小計		224千円	⑥
		合計(①~⑥)		753千円	

平成27年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	日光公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,676	2,002			100	1,902
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中で地域づくりと自己実現の生涯学習拠点施設の管理運営を行う。					
(支出内訳)					
				報酬(公民館運営審議会委員)	53千円
				賃金(町民運動会、公民館祭補助臨時職員)	266千円
				旅費	28千円
				需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料等)	905千円
				役務費(通信運搬費、火災保険料等)	167千円
				委託料(施設清掃、施設保守委託料)	321千円
				使用料及び賃借料(土地借りげ料等)	162千円
				備品購入費(図書購入)	100千円
				計	2,002千円
(財源内訳)					
				伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)	100千円
事業名	日光公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
679	682				682
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、高齢者教室(日光学園)、世代間ふれあいセミナー、ふるさと学級、ふるさとまつり(公民館まつり)、町民運動会日光地区大会、伯耆町駅伝等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(日光学園)					
日光地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
				報償費(講師謝金等)	28千円
				旅費(町外研修職員旅費)	7千円
				需用費(消耗品費)	10千円
			小計		45千円 ①
2. 世代間ふれあいセミナー					
小学校と公民館が連携した体験交流事業、地域性を生かしながら、幅広い年代層での体験交流事業、地域の伝統を継承し、スキー教室・親子でクロスカントリーの実施。					
				報償費(講師謝金)	70千円
				需用費(消耗品費)	11千円
			小計		81千円 ②
3. ふるさと学級					
日光地区に伝わる、食、文化各行事を通じて、後世に伝えると共に地域の伝統文化を再発見する。					
				報償費(講師謝金)	40千円
				旅費	5千円
				需用費(消耗品費)	9千円
			小計		54千円 ③
4. ふるさとまつり					
公民館活動の成果発表の場、地域住民の出会い、ふれあい、ふるさと再発見を目的とした交流の場					
				報償費(講師謝金)	18千円
				需用費(消耗品費、食糧費等)	126千円
			小計		144千円 ④
5. 町民運動会日光地区大会					
町民の健康増進と親睦を深める大会。実行委員会を組織し住民参画により企画運営を図る。					
				日光地区運動会補助金	226千円 ⑤
6. 伯耆町駅伝					
駅伝大会を開催し、健康づくりと親睦を深め、地域の活性化を目指す。					
				需用費(消耗品費、賄材料費等)	132千円 ⑥
			合計(①～⑥)		682千円

平成27年度一般会計予算

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

提出課 教育委員会
(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名		岸本公民館管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,431	7,311			37	7,274
(事業内容の説明) 町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
		報酬(公民館運営審議委員)		64千円	
		賃金(臨時職員1名、管理代行員)		2,489千円	
		旅費(普通旅費、費用弁償)		21千円	
		需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕料等)		2,399千円	
		役務費(通信運搬費等)		169千円	
		委託料(保守点検委託料、施設管理委託料等)		2,068千円	
		使用料及び賃借料(マット等使用料)		101千円	
		合計		7,311千円	
(財源内訳)					
		公民館使用料		30千円	
		雑収入(コピー料)		7千円	

事業名		岸本公民館生涯学習事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
976	1,044				1,044
(事業内容の説明) 各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(松栄学級)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間10回)					
		報酬費(講師謝金等)		64千円	
		旅費		5千円	
		小計		69千円 ①	
2. 成人講座					
成人を対象に、きしもと音頭踊り講習会のほか各種講座を開催し、学習と交流を図る。(年間6回)					
		報酬費(講師謝金)		32千円	
		旅費		4千円	
		需用費(消耗品費)		3千円	
		小計		39千円 ②	
3. 子ども体験活動					
小中学生を対象に、自然体験・郷土学習などとおして、子どもの豊かな心を育む。(年間6回)					
		報酬費(講師謝金)		22千円	
		需用費(消耗品費)		6千円	
		小計		28千円 ③	
4. 家庭教育講演会					
保育所、小中学校、その他関係団体と連携し講演会を開催し、家庭での教育力の向上を図る。					
		報酬費(講師謝金)		30千円 ④	
5. 町民運動会岸本地区大会					
岸本地区の町民総スポーツの中心的な事業として、実行委員会方式で開催する。(10月4日予定)					
		負担金補助及び交付金(岸本地区運動会補助金)		640千円 ⑤	
6. 岸本地区文化祭(H27年度から、きないや祭は商工会が不参加を決定したため、地区文化祭として実施)					
公民館内外の活動の成果を発表し、広く住民のふれあいと交流を図る。(11月21、22日予定)					
		報酬費(参加賞)		81千円	
		需用費(消耗品費、賄材料費等)、役務費		76千円	
		委託料(パネル設置等委託料)、使用料及び賃借料		81千円	
		小計		238千円 ⑥	
		合計(①～⑥)		1,044千円	

平成27年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位:千円)

事業名	人権教育・啓発推進協議会運営事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,510	1,821	398			1,423

(事業内容の説明)

部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消と人権が尊重される住みよいまちづくりを目指して、住民、町内事業所をはじめ、保育所・学校関係者、行政職員等で構成する伯耆町人権教育・啓発推進協議会が人権教育・啓発事業を実施しており、その運営を支援するもの。

(伯耆町人権教育・啓発推進協議会の主な事業)

① 明るいまちづくり懇談会

集落単位で対話をしたり研修会に参加して識見を深めることによって、住民が身近な人権尊重や差別の根絶について能動的に気づき、考え、行動するきっかけとするため、各集落での懇談会と広域的なセミナーを開催する。

② 人権・同和問題実践研究交流会の開催

人権・同和問題の早期解決と人権尊重の意識の高まりを目指して、町民や町内で働く者が学習と実践の意欲を高めるために実施する。

実施時期:平成27年11月中旬

規模:400人前後

内容:人権標語優秀作の表彰・人権作文の朗読(中学生)・実践報告等の発表(成人)・講演又は、パネルディスカッションなど(詳細は、実行委員会で協議・運営する。)

③ 啓発物品の作成、会報の発行及び配布

・人権啓発標語カレンダー(年1回)

・人権だより(年1回)

④ 県内外で行われる研修会への参加を助成。

第41回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会、部落解放第47回全国高校生集会、部落解放研究第49回全国集会、第41回部落解放・人権西日本夏期講座など

⑤ 人権啓発標語の募集と活用

小中学生から成人までを対象に人権啓発標語を募集し、優秀作品を人権・同和問題実践研究交流会で表彰するとともに、人権啓発標語カレンダーに掲載して啓発に活用する。

(事業費)

項目	予算額	備考
報 償 費	558千円	明るいまちづくり懇談会推進者・講演会講師謝金ほか
旅 費	545千円	県外等研修旅費
需 用 費	430千円	人権啓発標語カレンダー・人権だより作成・研修会資料代ほか
委 託 料	169千円	実践研究交流会音響操作・手話通訳
備 品 購 入 費	29千円	実践研究交流会立て看板
負担金補助及び交付金	90千円	県人権教育推進協議会費・県研究集会負担金
合計	1,821千円	

(財源内訳)

県人権啓発地方委託事業委託金 398千円

(対象:人権・同和問題実践研究交流会の講師謝金、音響操作・手話通訳委託料、立て看板購入費)